

## 2023年度 佐久長聖中学校 学校関係者評価

目指す学校像	教育理念「自由と愛」のもと、生徒一人ひとりの個性を尊重し、楽しく充実した学校生活を通して、生徒たちが魅力的な人間に成長できる環境整備を積極的に推進する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>魅力ある授業を生徒に提供できるための教科指導の研鑽に努める。</li> <li>生徒の進路実現に向けて、進路指導体制の発展に努める。</li> <li>生徒との前向きな対話のある生活指導・学級運営を行う。</li> <li>心身ともに健康で明るい学校生活をが送れるよう、生徒の人権を尊重し安心安全な学校づくりを進める。</li> <li>学校の教育活動を生徒や保護者、本校志願者、地域に対し、幅広く情報発信を行う。</li> </ol>
------	---

	評価項目	評価の観点	評価等
1	学習指導 進路指導	生徒の学ぶ意欲を引き出し、主体的に取り組む態度を育む授業が行えたか。	教員が工夫を凝らし授業を行い意欲を引き出していることがわかった。講義型の一斉授業がまだまだ多い傾向にあるようなので、生徒の実態に即したシラバスの見直し、改善が求められる。生徒たちがわかる、できるようになったと実感できるよう改善をお願いしたい。
		問題発見力、課題解決力、表現力、コミュニケーション能力を養う授業を展開できたか。	体験学習・探究学習の充実により、求められている能力の育成を図っていることがわかった。表現力、コミュニケーション能力の低い生徒への働きかけに課題があるとのことであったが、きめ細かな指導をぜひお願いしたい。
		生徒の希望進路を実現するために、大学入試についての研究を行い、生徒個々に対応した指導が行えたか。	中高一貫のシラバスの見直しという話が出てきた、小学校開設に伴い小中の連携がどのようになるのか早い段階で示す必要があるのではないか。今あるシラバスのために学びの進捗が早くなることで、積み残しがでないよう見直し進めたいとの話があったが、早急をお願いしたい。
		大学のさらに先を意識しながら進路を考えられるようなキャリア教育や進路指導を実践していたか。	高校の教員による進路講話等の企画はとても良いことである。普段関わりの少ない教師からの講話は外部指導者と同様に生徒たちに良い意味で刺激となっている。大学からその先が見えない、やりたいことが見えない生徒への支援は難しいところもあると思うが、とても大切なことである。しっかりと指導をしていただきたい。また、目標がはっきりしている生徒に対してもしっかりとバックアップと指導をお願いしたい。
2	生徒指導	校内外問わず、いじめ・暴力・SNSトラブルなどのない安心・安全な学校を送るための啓発活動を行い、情報収集を行えたか。	SNS(グループライン)などで校内及び館でトラブルがあることを子どもから聞いている。館に入っている生徒は淋しい思いをしているのではないかと。館職員や教員が対応していることはわかったが、地域・保護者とつながりが持てる良いのではないかと。制服を正しく着こなしている(スカート丈が短い等)生徒が少ない気がする。多様性の時代女子のスラックスやネクタイ等を着用することが特別ではないというコンセンサスが必要ではないかと。式典における正装がどのようになっているのか知りたい。
		生徒に体罰や暴言と捉えられるような言動を行わなかったか。	安全で安心できる学校づくりのため、いじめの早期発見対応に努めている状況はわかった。求めるところはじめのない学校であるが、いじめはどこでも起こり得るという常に危機感を持って対応していただきたい。また、体罰や暴言のない子どもたちが安心して学べる環境づくりに努めていただきたい。
3	保護者連携 地域連携	保護者や外部からの声に対してきちんと対応・返答できたか。	働き方改革が求められる中、保護者の声を聴き、夜遅くまで対応していただいていることは大変ありがたい。先生方がご苦労されている様子がうかがわれる。対応の難しい保護者もいるかと思うが保護者の話をよく聴いていただき、丁寧な対応を今後もお願いしたい。
		ホームページ・Classi等で積極的に学校・学年・学級・クラブ等の情報発信ができたか。	情報発信は良くされている。さらに充実するようにホームページにおける中学校の計画的な発信を期待したい。